

(案)

千葉市長 神 谷 俊 一 様

令和 3 年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和 3 年度において定例会議を 2 回開催、書面による審議を 1 回実施し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

記

1 審議対象

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

2 審議経過及び審議結果

令和 3 年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

令和 3 年	8 月 2 3 日	第 1 回委員会	審議案件	8 件
令和 3 年	1 1 月 2 2 日	第 2 回委員会	審議案件	8 件
令和 4 年	2 月 7 日	第 3 回委員会	審議案件	6 件

3 意見

本委員会は、令和 3 年度発注案件の中から各委員が抽出した案件 2 2 件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できるところであり、今後も入札契約制度について、常に現状を把握し、公平性、透明性及び競争性を確保され、制度の目的が達成されているかを検証しながら、より効率的な改善に努められたい。

また、今年度の入札状況を見ると、昨年度に比べ入札不調の発生率は減少しているものの、依然高い状況である。

入札不調の内容を分析すると、特定の業種で発生率が高かったり、「技術者不足」を主な理由とするケースが顕著であったり、といった特徴が見て取れる。工事の内容や性質に鑑み、適切な業種で発注することや、技術者不足である現状を前提とした入札制度とすることなど、引き続き入札不調の抑制に努められたい。

令和 4 年 2 月 7 日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

委 員 長	森	雅	彦
委 員	大 川	優	子
委 員	大 久 保	佳	織
委 員	坂 根	良	平
委 員	望 月	悦	子